



附属書 1

附属書 1

安全で強靱なデジタル通信ネットワークのためのケーブル接続性に関する 共同声明

1. 我々は、2023年 G7 デジタル・技術閣僚宣言及び安全で強靱なデジタル・インフラ構築のための G7 行動計画に基づき、志を同じくするパートナー、民間部門、国際機関及び開発機関との協力を強化し、大洋横断海底ケーブル等の国際通信インフラの安全なルートの開発と保守を促進する意思を再確認する。
2. 海底ケーブルは、国際データトラフィックの圧倒的大部分を伝送している。国境を越えて相互に接続されるという性質に鑑み、安全な接続性の重要性が高まっていることを踏まえ、我々は、より安全で強靱なグローバル・デジタル・インフラを開発することの恩恵を認識し、安全な国際的接続性を支援するための政策を強化することを求める。特に、海底ケーブルは、安全な接続性を強化し、国境を越えた強靱なデータ流通を提供し、研究ネットワークの質を高め、新しいビジネスの機会を育むことができる。海底ケーブルは、大きなデータ容量を提供し、費用対効果に優れ、信頼性が高いため、国際通信インフラにとって不可欠である。
3. 2023年の経済的強靱性及び経済安全保障に関する G7 首脳声明で強調されたように、安全で強靱なケーブルの接続性、保守、修理に係る取組及び供給者を促進することは、安全で信頼できる国際通信ルートのグローバルな多様性を増加させるという我々の共通の目標と一致しており、G7 メンバー間やそれを越えた国々間の通信の速度、品質及びセキュリティを改善し、強化する助けとなり得る。
4. 従って、我々は、技術的なセキュリティ要件に関するより良い協調など、安全な海底ネットワークのための潜在的な協力分野を探求する意欲を共有する。
5. さらに、海底ケーブルは、接続性の限られた地域において、安全で強靱なネットワークにより、強靱性と接続性を高めることができる。これには、北極圏や太平洋地域を通る大洋横断ルートもまた含まれ得る。

6. 我々は、既存の安全で強靱な海底ケーブルネットワークを考慮に入れながら、ケーブルの接続性の経済的及び環境的な持続可能性に関する研究を進める必要性を強調する。
7. 結論として、我々は、海底ケーブルルートが通信の安全性と強靱性に与える潜在的なプラスの影響に鑑み、社会的、環境的、経済的効果を適切に考慮した上で、安全で強靱なケーブルの接続性に関する協力の重要性を強調する。この目的のため、我々は、北極圏及び太平洋地域を含め、ケーブルの接続性の戦略的な重要性の認識を促進する取組を歓迎する。

